

平成22年6月7日

貧酸素水塊速報 (2010年)

【発行】 千葉県水産総合研究センター 千葉県農林水産技術会議
【協力】 神奈川県水産技術センター 内湾底びき網研究会連合会
千葉県環境研究センター 東京都環境局
第三管区海上保安本部 千葉灯標モニタリングポスト
国立環境研究所
(今回の速報は" "の機関の観測データを使用して作成しました)

平成22年6月7日観測結果

底層の貧酸素化がさらに強まり、内湾北部の水深10m以深では、ほぼ全ての海域で底層に貧酸素水塊が見られました。また、DO1ml/L以下と強く貧酸素化した海域も比較的広範囲に認められました(図1)。鉛直的に見ると、内湾中央部では海底から10mほどの厚みを持って貧酸素水塊が分布していました(図2)。貧酸素化の強まりに伴い、その規模は大きく上昇し、例年の3倍ほどに達していました(図3)。

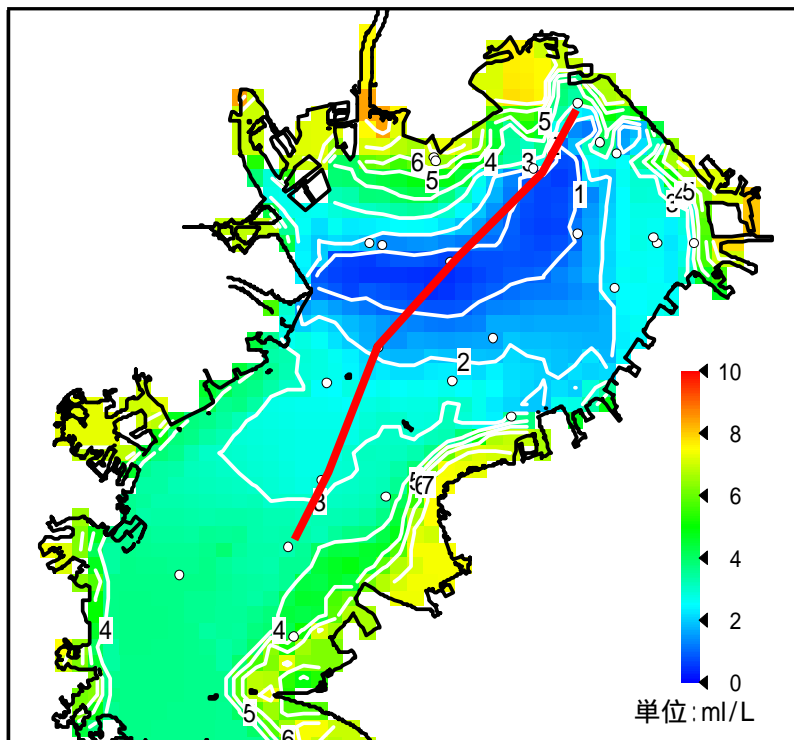


図1 底層の溶存酸素量分布(赤線は縦断ライン)

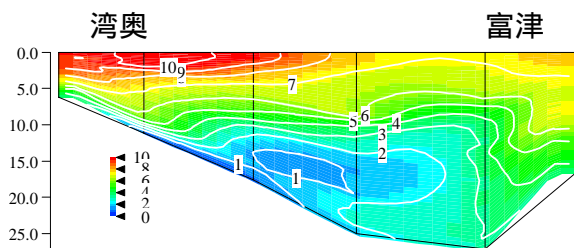


図2 縦断ラインでのDO鉛直分布

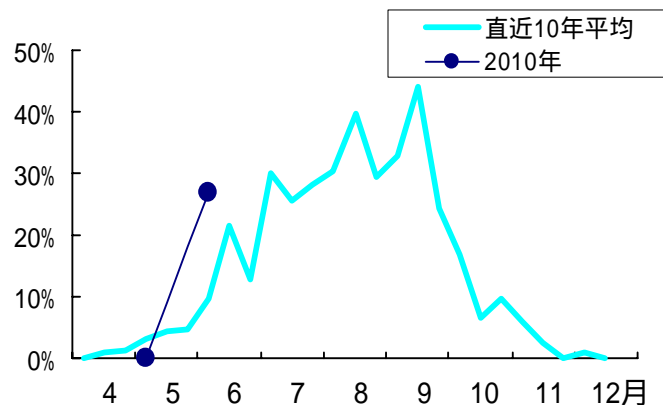


図3 貧酸素水塊の規模
(左図で貧酸素水塊(2.5ml/L以下)が占める割合)